

会期変更 新型コロナウイルス感染予防のため、会期が変更になりました。
改めてお知らせのほどご検討いただければ幸いです。

インプリントまちだ展2020

インドネシアの新星
アグン
「AGUGN」来る!

すむひと

「Imprint」MACHIDA 2020 From Stranger to Neighbor: Machida seen from the "artists"

「アーティスト」が
みた町田

2020
6/9 - 9/13
[火] [日]

会期変更

休館日=月曜日、8月11日(火)※ただし、8月10日(月・祝)は開館
今後の感染拡大状況によっては、開館日に変更が生じる場合があります。ご来館の際は当館HP、SNSにて最新情報をご確認ください。

開館時間=平日 午前10時～午後5時 土日祝 午前10時～午後5時30分※入場は閉館30分前まで

観覧料=一般900(700)円、高校・大学生450(350)円、中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金。

身体障がい者手帳、療育手帳、または精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方と付き添いの方1名は半額です。「バティック割引」「リピーター割引」ほか各種割引があります(詳細は当館HPに掲載)。
*毎月第4水曜日に予定していたシルバーデーは65歳以上の方が集中することが考えられるため、新型コロナウイルス感染予防の観点から本展においては当展のあいだ実施いたしません。

主催=町田市立国際版画美術館、東京新聞
後援=インドネシア大使館 協力=ガルダ・インドネシア航空、FC町田ゼルビア
助成=一般財団法人地域創造

アグン・プラボウォ(チラックス #1)リノカット彫り込み技法、手製の再生紙、2016年、作家蔵

Garuda Indonesia The Alone of Indonesia TokyoTokyo FESTIVAL 町田市文化プログラム

町田市立国際版画美術館 Machida City Museum of Graphic Arts

インドネシアのアーティスト
「すむひと」

「インプリントまちだ展」は2017年からはじまった、版画を軸に制作する若手作家が町田に取材した新作を発表する展覧会シリーズです。最終年となる2020年は、注目のインドネシア人アーティスト、アグン・プラボウォの代表作と新作を本邦初公開します。

インプリントまちだ展ファイナル！ 「くるひと」と「すむひと」が つくりあげた町田のかたちとは？



インプリントまちだ展は、東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて2017年から当館が開催してきたシリーズ展です。その集大成となる本展では、「すむひと」＝町田在住のアーティストと市民、「くるひと」＝当館が招いたアーティストたちの作品をあわせて展示します。

さらに、シリーズのフィナーレにふさわしいゲストとして、町田市がホストタウンを務めるインドネシアの新進気鋭アーティスト、アゲン・プラボウォが、町田の市街地に取材した新作を発表します。



みどころ
その1

新進気鋭のインドネシア人若手アーティスト アゲン・プラボウォの作品を本邦初公開！

東京オリンピック・パラリンピックで町田市がホストタウンを務めるインドネシアから、本展のために招へい。現代アートが盛り上がっているインドネシアでも注目のアーティストです。これまでの画業をたどる代表作とあわせて、町田の市街地に取材した新作を発表します。

みどころ
その2

若手作家を招へいする展覧会シリーズ 「インプリントまちだ展」の集大成！

2017年にサッカーJ2・FC町田ゼルビアを取材したながさわたかひろ、2018年に町田の養蚕の記憶に着想を得た荒木珠奈、そして2019年に伐採予定だった一本の木を版木にした田中彰。2017-2019年の招へい作家3名の作品が一堂に会します。

みどころ
その3

版画や出版物に“刻まれた”町 「まちだ」をめぐるネバーエンディングストーリー



1960年代から大規模な宅地・団地開発をきっかけに発達した町田。本展の前半では、若林奮、飯田善國、赤瀬川原平ら町田に住んだアーティストの作品と、ミニコミ誌やフリーペーパーなどの自主出版物を展示し、町田を「住む町」に育てようとした文化の一端をご紹介します。

「インプリントまちだ展」とは？

この展覧会シリーズでは、版画を制作の軸とする若手作家を毎年招へいし、町田に取材した新作を発表してきました。アーティストの目線で町田の多様な姿を後世に残し、展覧会に関わった多くの人々の心に刻まれることを目指します。

アグン・プラボウォ Agung Prabowo "Agugn",

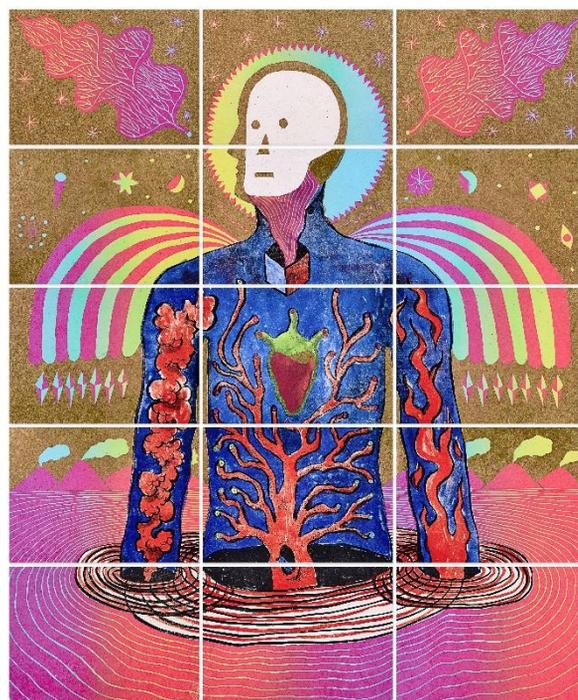
1985年生まれ

インドネシア・バンドン出身、バリ島ウブド在住。バンドン工科大学芸術デザイン学部芸術学科版画コースに学ぶ。リノカット(版材としてリノリウムを使用した版画)による独創的な作品が国際的に高く評価されている。Facebookジャカルタオフィスの壁画も手がける。インプリントまちだ展2020に向けて、町田の市街地を取材した新作を制作しました！

 @agugn



最初期の作品から2020年の最新作まで約70点の作品を、本展で日本初公開します。たった一枚の版を彫り進めて制作されるリノカットの多色刷り版画は必見です。展示室の最後には、180枚もの版画を組み合わせた町田をテーマとする3部作も展示されます。



③ 展示室内にはインスタレーションも出現！！

①アグン・プラボウォ《私と私》リノカット、2019年、作家蔵 ②アグン・プラボウォ《チラックス #1》オフセット・リトグラフ、リノカット、2016年、作家蔵 ③アグン・プラボウォ《デジタル・メモリー》インスタレーション、2019年、作家蔵 ④アグン・プラボウォ《運命の門》リノカット、2019年、作家蔵

「すむひと」と「くるひと」がみた町田



⑤ 田中彰
2019年招へい
テーマ「自然」



⑥ 荒木珠奈
2018年招へい、テーマ「記憶」



⑧ アグン・プラボウオ
2020年招へい
テーマ「都市」



⑦ ながさわたかひろ
2017年招へい、テーマ「スポーツ」

くるひと



すむひと

⑨ フリーペーパー
2013年創刊、こどもの国駅周辺
エンタメマガジン『国マガ』



⑪ 若林奮
1936年町田市生まれ



⑩ 赤瀬川原平
1984年から町田市に居住

⑤田中彰+来館者共同制作《町田芹ヶ谷えごのき縁起絵巻》(部分)、木版(芹ヶ谷公園のエゴノキ)、2019年、作家蔵、撮影:平林岳志 ⑥ 荒木珠奈《たままゆ・k》エッチング、2018年、作家蔵 ⑦ながさわたかひろ『FC町田ゼルビアを描く! 2019年』より《40節vsレノファ山口(2019年11月10日)》ペン、色鉛筆、2019年、作家蔵 ⑧ アグン・プラボウオ《不安のプラズマを採取する》ほか新作「リノカット」、2020年、作家蔵 ⑨こどもの国駅周辺エンタメマガジン『国マガ』(国マガ編集部、2013年に創刊し続刊中) ⑩赤瀬川原平《風のレコード》オフセット、凸版、1988年、町田市立国際版画美術館 ⑪若林奮 銅版画集『境川』より《境川 V》エッチング、1991年、町田市立国際版画美術館

展示の見どころを一部お見せします！



400人以上が
制作に加わった
横幅約7.5メートル
の超大型絵巻

町田市周辺を盛り上げる
フリーペーパー4誌を紹介

⑫



⑬



アゲン・プラボウオの作品
約70点が一堂に会する
展示室

⑭



人の動きに合わせて
画面が変化する
体験型インスタレーション

⑮



⑯



⑰

オンライン・イベントのご案内 まちだ⇄おうち を楽しもう！

町田市立国際版画美術館公式SNSでは、ぬりえや作品解説など
おうちで楽しめるコンテンツを多数ご用意しています。

学芸員によるオンライン・ギャラリートークは、Instagramにて不定期で配信中！
インドネシア在住のアゲン・プラボウォ氏、
ニューヨーク在住の荒木珠奈氏のアーティスト・トークもオンラインで開催します。
「すむひと⇄くるひと展」のオンライン展開にご期待ください！



*新型コロナウイルス感染予防のために、本展の関連イベントは
当初の日程から変更いたしました。最新の情報は当館HPをご覧ください。



@machida_hanbi 公式HP <http://hanga-museum.jp/>



展覧会概要

- 展覧会名 インプリントまちだ展2020 すむひと⇄くるひと —「アーティスト」がみた町田—
“Imprint” MACHIDA 2020 From Stranger to Neighbor: Machida seen from the “artists”
- 会期 **【会期変更】** 2020年6月9日(火)～ 9月13日(日)
- 休館日 月曜日、8月11日(火) *ただし、8月10日(月・祝)は開館
- 開館時間 平日 10:00～17:00 土日祝 10:00～17:30 (入場は30分前まで)
町田市立国際版画美術館 企画展示室1・2
- 会場 一般＝900(700)円、高校・大学生＝450(350)円、中学生以下は無料
- 観覧料 *()内は20名以上の団体料金 *身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)
または精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方と付き添いの方1名は半額です
*「バティック割引」「リピーター割引」ほか各種割引があります(詳細は当館HPに掲載)
- 主催 町田市立国際版画美術館、東京新聞
- 助成 一般財団法人地域創造
- 後援 インドネシア大使館
- 協力 ガルーダ・インドネシア航空、FC町田ゼルビア

お問い合わせ先

町田市立国際版画美術館 (〒194-0013 町田市原町田4-28-1)
展覧会担当/町村悠香(まちむら はるか) 広報担当/高野詩織(たかの しおり)
電話 042-726-0860/2771 FAX 042-726-2840
メール bunspo040@city.machida.tokyo.jp

※広報用に本プレスリリース掲載の画像データ、およびプレゼント用招待券を用意しております。

ご利用いただける際は、広報担当・高野までメール(件名に【インプリント広報】を明記)か電話にてご連絡ください。
※ご希望の画像番号1～17をお知らせください。

同時開催 | ミニ企画展 (常設展示室、入場無料)

6月9日(火)～6月28日(日) 棟方志功「二菩薩釈迦十大弟子」と仏教版画
7月1日(水)～9月13日(日) シリーズ現代の作家 横尾忠則